

静岡県環境放射能測定技術会（令和2年度第4回）会議録

1 開催日・場所等

日時	令和3年3月5日（金）14:00～15:30
方法	Web会議
出席者	構成員：加藤危機管理監代理兼危機管理部部長代理ほか14名
議事	<p>議事</p> <p>(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第188号</p> <p>(2) 静岡原子力だより188号（案）</p> <p>(3) 令和3年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）</p> <p>報告</p> <p>(1) 令和2年度第4四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報</p> <p>(2) 空間放射線量率測定装置の更新整備</p> <p>(3) 浜岡原子力発電所の現況</p>
配布資料	<p>資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和2年10月～12月）（静岡県環境放射線監視センター）</p> <p>資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書 （令和2年10月～12月）（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料3 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料4 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第188号（案）</p> <p>資料5 静岡原子力だより188号（案）</p> <p>資料6 令和3年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画（案）</p> <p>資料7 令和2年度第3四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報 （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力(株)浜岡原子力発電所）</p> <p>資料8 空間放射線量率測定装置の更新</p> <p>関連資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料</p> <p>関連資料2 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第187号</p> <p>関連資料3 静岡原子力だより187号</p> <p>中部電力報告資料 浜岡原子力発電所の現況</p>

2 審議事項

- (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書
（令和2年10月～12月）
- (2) 浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力(株)浜岡原子力発電所）
測定機関が、資料1（環境放射線監視センター）、資料2・3（中部電力(株)浜岡原子力発電所）により測定結果を報告した。

<質疑応答>

構成員：資料2添付1について。原因調査の中でゲイン調整という言葉が出てくるが、あまりなじみのないもので承知していない者も多いと思う。「ゲイン調整によって低下傾向が改善された」ということなので、重要な調整だと

思うが、もう少し詳しく、分かりやすく、何故電圧調整すると線量率の低下が改善されるのか、検出器の原理等に触れながら説明していただきたい。

中部電力：資料2添付1の1頁下、注2にゲイン調整の説明を記載している。「セシウム-137線源を使用して、セシウム-137ピークが 132.4 ± 2 チャンネルになるように検出器への印加電圧を調整することである。

構成員：印加電圧とは光電子増倍管の部分に電圧をかけて調整することよろしいか？

中部電力：まず確認として、セシウム線源を当てた状態で、社内基準としている 132.4 ± 2 チャンネルを確認した上でチャンネルのずれを調整するためには電圧の調整を行うので、印加電圧そのものは検出器全体にかけるもので、光電子増倍管ではなく電子基盤にかけるものである。

構成員：検出器をゲイン調整した後は低下傾向が改善されたとのことだが、検出器のゲイン調整がうまくできていなかったということではなく、調整しなければならぬような状態に陥っているのであれば、そもそもこの管の劣化が進んでいる、という判断なのか。

中部電力：そのとおり。光電子増倍管の劣化によってセシウムピークのずれが生じたと考えている。

構成員：重要な専門用語については、今説明していただいたように、みんながわかりやすい初歩的な注釈を加えた資料にさせていただけるとありがたい。

構成員：資料1の添付資料4頁について。上之原のセシウム濃度の変動がずっと続いている。測定した場所の土壌がセシウムを保持しているのではないか。土壌は測定しているのか。疑問をもたれたら測っていただきたい。

監視センター：土壌の放射能濃度について情報は持っていない。今後測定を検討したい。

構成員：資料2添付1光電子増倍管について。大学でも使用している時、ゲイン調整として、電圧を変えるか増幅率を変えるかのどちらかを行うと思うが、通常これがずれ始めると、光電子増倍管が悪くなるのか、結晶の方が何らかの故障つまり透明性がなくなっているためにこのような現象がおきる。たぶん交換しないといけないと思う。

(3) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第188号(案)

事務局が、資料4により、浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第188号(案)を説明した。

<質疑応答>

構成員：資料4の19頁について。先ほど説明あった桜ヶ池のデータは載せるのか？数値が信用できないものだが、そのまま掲載するのか？例えばその部分だけ省くとかしたほうがよいのでは？

事務局：ご指摘は、桜ヶ池公民館のグラフを見ると、7～9月のデータが下がってい

るのは、測定の妥当性が疑われるということか？

構 成 員：そうだ。実際は下がっていないのに、見かけ上、下がっているように見える。

事 務 局：中部電力所有の局舎なので、確認した上で対応する。

<審議結果>承認。資料4の19頁については事務局一任。

(4) 静岡原子力静岡原子力だより187号(案)

事務局(原子力安全対策課)が、資料5により、静岡原子力だより187号(案)を説明した。

<質疑応答>

構 成 員：3頁の農産物の結果、カサゴの採取日の「日」が抜けている。

事 務 局：修正する。

構 成 員：4頁のQAについて。図中の要配慮者の避難先地域の避難手段の記載がない。一般住民や、UPZについては、自家用車やバスの記載があるので、要配慮者にも、バスとか福祉車両とか記載したほうがいいのでは？

事 務 局：ご承知のとおり要配慮者の搬送は非常に大きな課題である。明確なものがなく悩んだため記載できなかったが、逆にそれが市民に伝わるのに不安を与えるのもよくないので、どのような記載がいいか工夫して検討したい。

<審議結果>承認。QAへの指摘事項は事務局一任。

(5) 令和3年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画(案)

事務局が、資料6により、令和3年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画(案)を説明した。

<質疑応答>なし。

<審議結果>承認。

3 報告

(1) 令和2年度第4四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報

測定機関(環境放射線監視センター及び中部電力株)が、資料7により令和2年度第4四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報を説明した。

<質疑応答>なし。

(2) 空間放射線量率測定装置の更新整備

測定機関(環境放射線監視センター)が、資料8により空間放射線量率測定装

置の更新整備について説明した。

<質疑応答>なし。

(3) 浜岡原子力発電所の現況

中部電力(株)が、中部電力報告資料により、浜岡原子力発電所の現況について説明した。

<質疑応答>なし。

以上